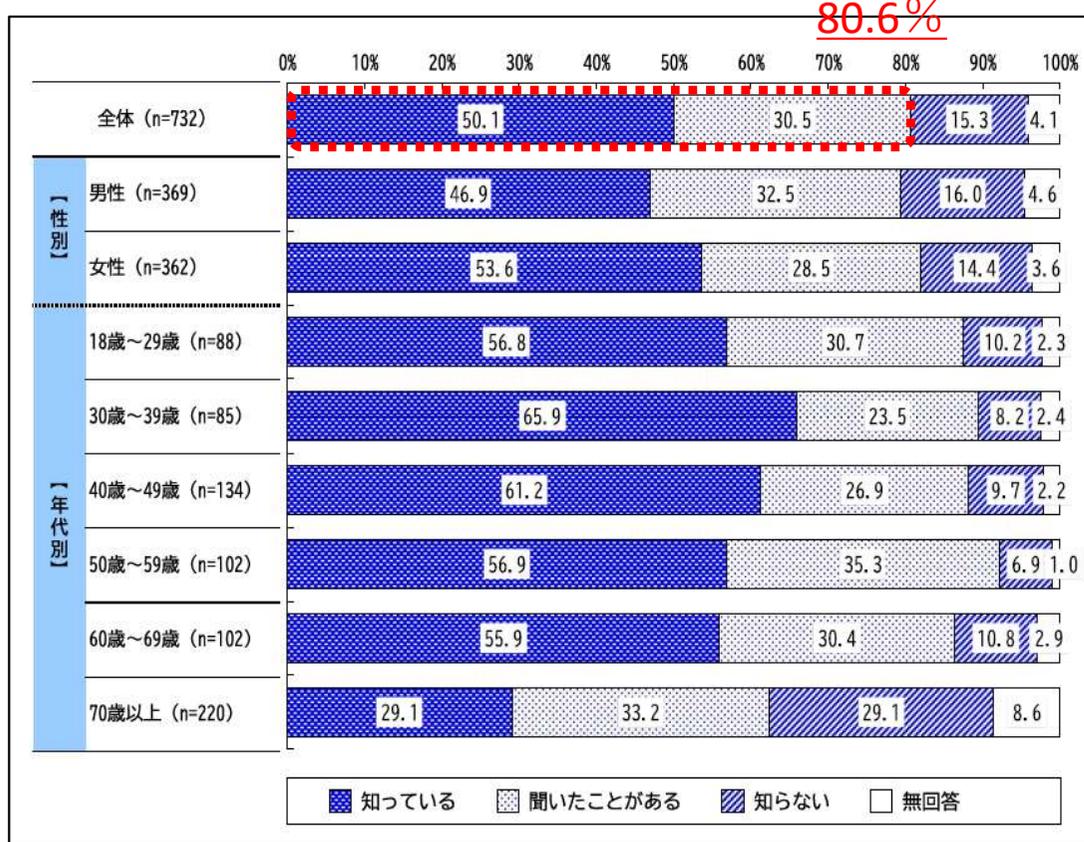


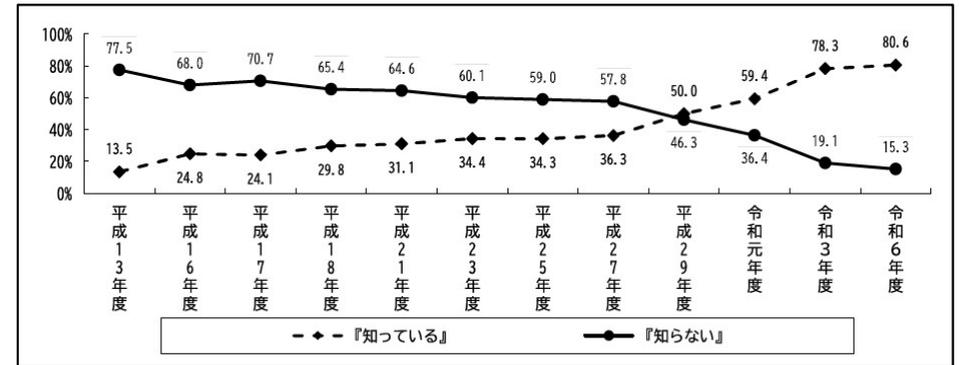
# 「ジェンダー」の言葉の認知度について

- 令和6年度では、男女ともに約8割の静岡県民が、「ジェンダー」の言葉を『知っている』※という結果になっています。
- ※「知っている」と「聞いたことがある」の合計値
- 本市調査において、「男女共同参画社会」の言葉を『知っている』市民の割合は77.4%です

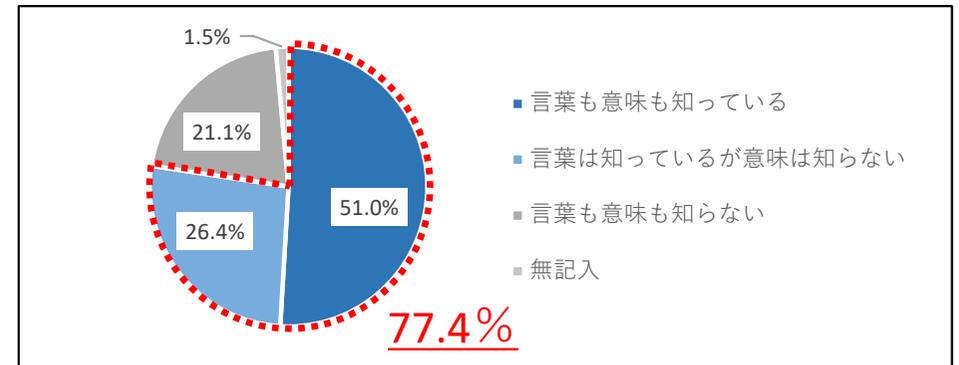
< 「ジェンダー」の言葉の認知度（静岡県） >



< 「ジェンダー」の言葉の認知度の経年変化（静岡県） >



< 【参考】「男女共同参画社会」の言葉の認知度（沼津市） >

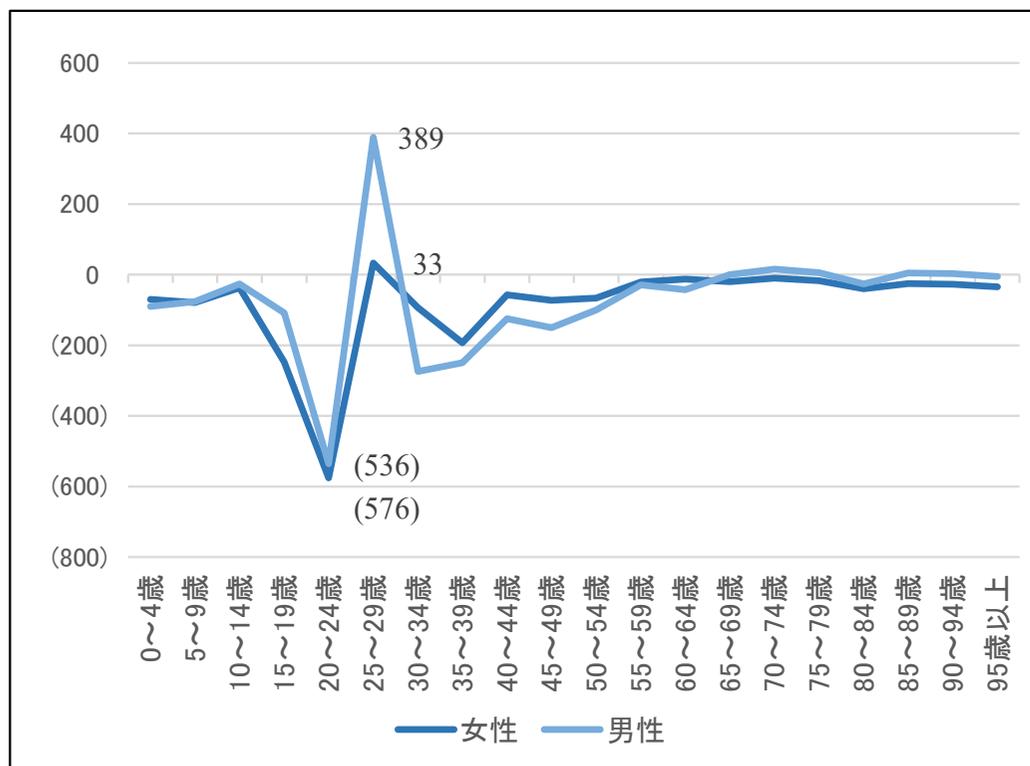


資料：令和6年度静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査報告書（静岡県）  
令和6年度沼津市男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書（沼津市）

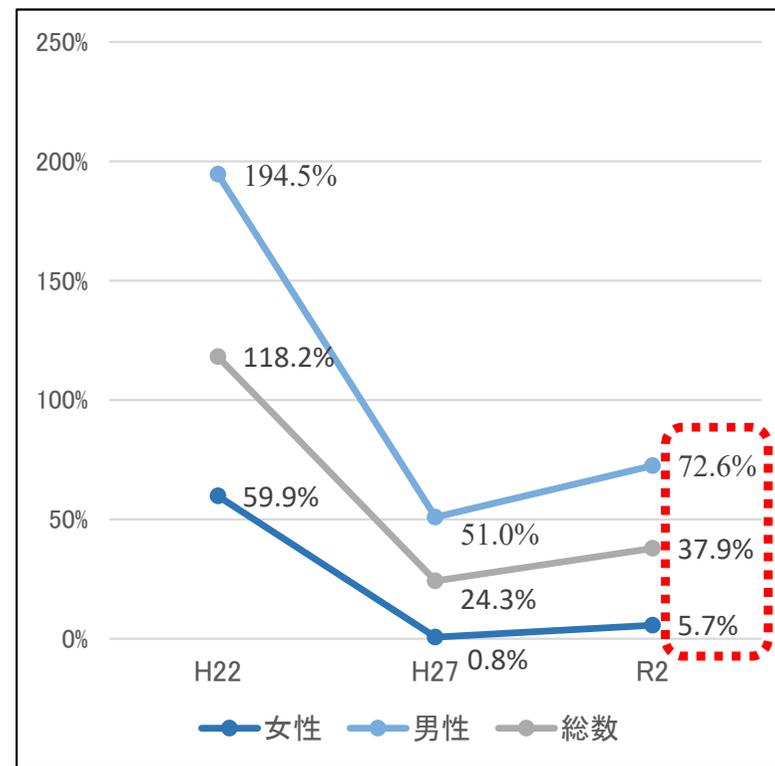
## 若者回復率について

- ・平成27年度から令和2年度間の社会減は、20～24歳代（平成27年度に15～19歳で沼津市に常住し、令和2年度に市外常住する者）で最も減少が大きく、**男性536人、女性576人**であり、一方の社会増は、25-29歳代（平成27年度に20～24歳で市外に常住し、令和2年度に沼津市に常住している者）が最も多く、**男性389人、女性33人**です。
- ・令和2年度の若者回復率（10歳代の転出超過数に対する20歳代の転入超過数の割合※1）は、**男性72.6%に対して、女性5.7%**で、**若年女性の流出が深刻であることが改めて示唆**されました。

<H27年度-R2年度間の5歳階級別※2・性別の社会増減（沼津市）>



<若者回復率の経年変化（沼津市）>



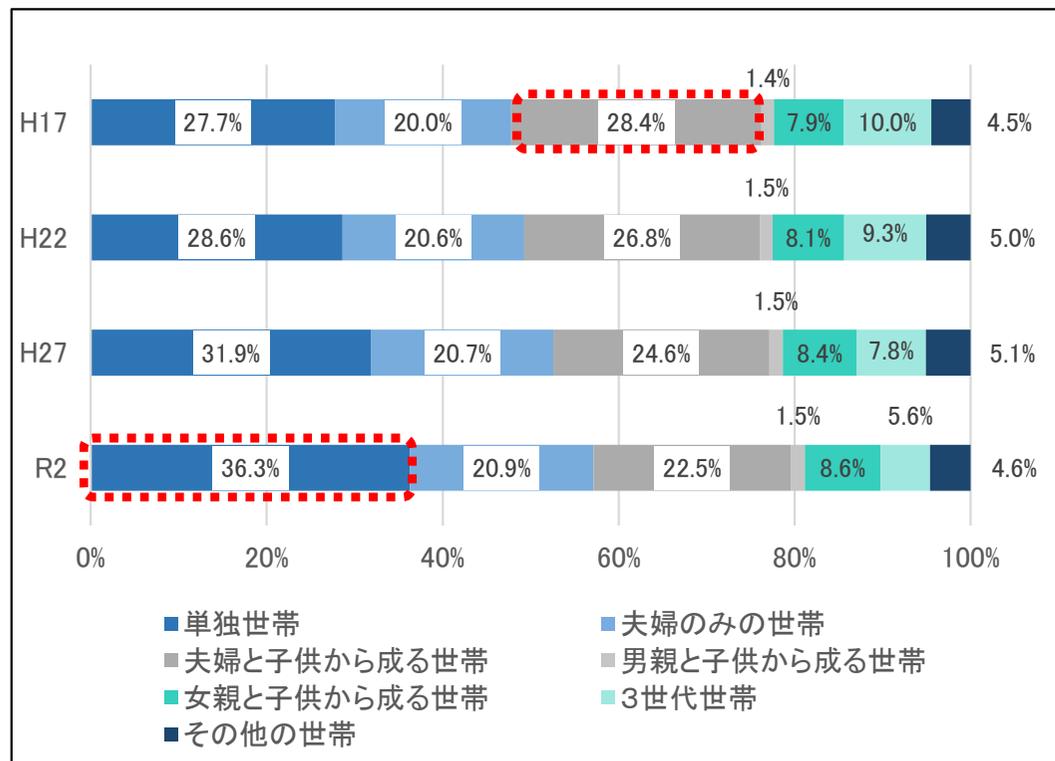
※1 若者回復率の定義は、兵庫県豊岡市による第2期豊岡市地方創生総合戦略第2版（2020年12月改訂）において提唱されたものに準じています。

※2 年齢は令和2年度時点での年齢です。

## 本市の世帯類型の構成比について

- ・ **単独世帯の割合**は、平成22年度に夫婦と子供から成る世帯の割合を抜き、**令和2年度では36.3%にまで拡大**しています。
- ・ 単独世帯の年齢構成比について、15～64歳・男性の41%、15～64歳・女性の19%、75歳以上の女性16%の順に高い割合を占めています。男女別に見ますと15～64歳の年代では、男性が女性の約2.1倍、65～74歳の年代では、男女同程度、**75歳以上の年代では女性が男性の約2.7倍**となっています。

<世帯類型の経年変化（沼津市）>



<令和2年度 単独世帯の年齢構成割合（沼津市）>

